



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.332 . 1997 . 3 . 1



（株）奈義森林建築センター 二級建築士 鷲田 實さん

目 次

造林事業について	2 ~ 3	普及指導区のコーナー「苦津」 ...	7
林業普及ネットについて	4	林研だより「真庭」	8
“樹”	5	お知らせ	9
地域の林業を支える人達	6	林産物市況等	10

“ おかやまの 未来をひらく 農林漁業 ”

岡山県 農林漁業活力向上運動

造林事業について

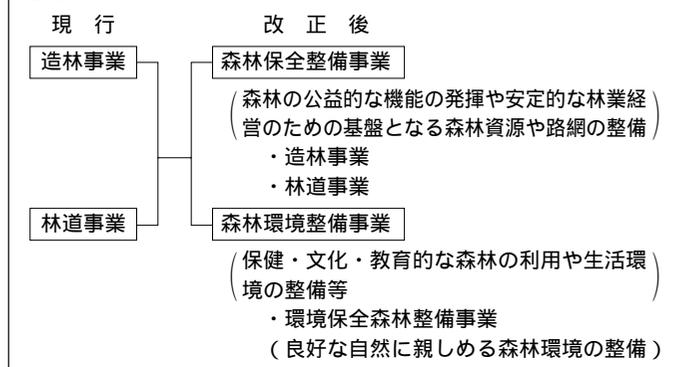
一 はじめに

森林は、林産物を供給するとともに、国土の保全、水資源のかん養、保健休養の場の提供、自然環境の保全・形成等の多様な公益的な機能を有しています。このような森林の機能は、森林を適切に管理することによって初めて高度に発揮され、活用されるものです。このため、植栽から間伐などの保育を通じた体系的な造林事業が実施される必要があります。

特に、近年国民の森林に対する要請は多様化しており、健全な森林の造成が、より一層重要となっております。

これらの多様で、高度なニーズに適切に対応するため、平成九年度からは、造林事業と林道事業が一体となり、森林整備の目的に応じて、森林保全整備事業、森林環境整備事業に再編され実施される予定です。（別表一のとおり）

別表 - 1



二 造林関係事業の概要

ここでは、平成九年度造林関係事業の改正の概要についてお知らせします。

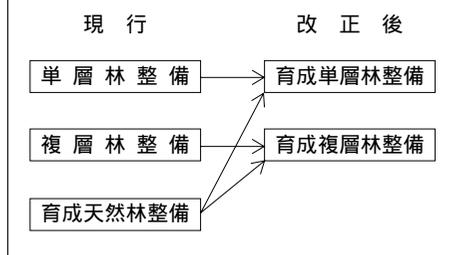
なお、事業内容、採択条件などの詳細につきましては、要領等が改正され次第お知らせいた

森林保全整備事業

します。

森林保全整備事業の事業区分は、別表二のとおり改正されます。また、主な事業は次のとおりです。

別表 - 2



(一) 広域水源地域森林整備事業 (新規)

趣旨

ダム上流の水源地域で水源かん養機能の高度発揮を図る必要がある森林において、流域森林総合整備事業の中で、広葉樹林、針広混交林等の適切な森林整備と併せて林地に簡易な工作

あなたも海外へ研修に行きませんか

農林漁業担い手育成財団では海外の先進地域へ行って農林漁業の研修をしたいという青年を派遣しています。

派遣期間は、概ね二週間程度で、助成金額は海外研修に要する経費の二分の一以内、限度額三十二万五千円です。行き先や時期等のプランは、皆さんで自由に立てていただくようになります。

これまでも、シイタケの研修で中国を希望する男性や女性の役割を調査するためニュージーランドでのホームステイを希望する女性等、毎年十名前後を派遣しています。

応募資格は、農林漁業後継者クラブに所属する三十九歳以下の青年で、県内において農林漁業に専業で従事し、将来、地域農林漁業の中核的な担い手になると見込まれる方です。

派遣を希望する場合は、お近くの農業改良普及センターへお問い合わせください。

物の設置を行い、水資源のかん養等森林の機能の高度発揮を図る事業です。

事業内容

育成単層林整備、育成複層林整備、機能増進保育、機能補完整備（簡易土留工、掘削工等）などのほか、広葉樹の除間伐、ぬき伐り等が実施できます。

(二)保全松林健全化整備事業(拡充)趣旨

松くい虫は、被害木のほか林内に自然発生する被圧木、枯れ枝等を繁殖源としているため、これら感染源の除去と発生の抑制を図る除間伐を実施するなど森林施業が必要不可欠となっております。

このため、微害状態にある松林において、森林整備の一環として松くい虫の被害木を含む感染源の除去、処理を行い、松林の健全化を図る事業です。

事業内容

育成単層林整備、育成複層林整備、機能増進保育に加えて、新たに林床改善整備、被害木等の処理ができるようになりました。

森林環境整備事業

森林の保健・文化・教育的な利用や生活環境の整備を目的として次の事業が創設されます。

(一)森林空間総合整備事業(新規)

趣旨

従来の豊かな森づくり事業などの森林空間整備事業が整理統合され、それぞれの森林や地域の要請に即したタイプの森林空間整備が実施可能となります。

なお、事業のタイプとして次の五つがあります。

- ・ 広域タイプ
 - ・ 中山間タイプ
 - ・ 生態環境共生タイプ
 - ・ 森林健康促進タイプ
 - ・ 創造・体験タイプ
- 事業内容

- ・ 森林空間整備（除間伐、枝打ち、広葉樹・花木の植栽等）
- ・ 付帯施設整備（標識類、林内作業場、防火施設等）
- ・ 路網整備（遊歩道、作業路等）
- ・ 用地等取得

このほか事業のタイプに応

じ、ビオトープの森整備、溪流路の整備等が実施可能です。

(二)居住地森林環境整備事業(新規)

趣旨

都市等における居住地周辺の森林において、防災、景観、住民と森林のふれあい等にも配慮した森林整備等を行い、居住環境としての森林を整備するとともに、連絡路として林道の開設を実施することにより良好な生活環境の確保を図ることができ

事業内容

市町村が作成した計画に基づき、森林整備、路側樹林帯整備、路網整備（林内歩道、作業路）、付帯施設整備（林内作業場、防火施設等）、林道整備が実施可能となります。

(治山課造林係 武用康男)

林業普及ネットについて

一 はじめに

林業普及ネットは林業普及指導職員の活動を情報面から支援するため、活動の推進に役立つと見込まれる情報を幅広く収集・蓄積し、林業普及指導職員の要請に応じて提供するシステムです。

つまり、パソコン通信を活用して普及指導職員に必要な情報の提供をするものです。昭和六十三年、全国林業改良普及協会に対する林野庁の助成事業として開始されました。

以下、その概要について紹介します。

二 サービス内容

主なサービスメニューは、電子掲示板、電子メール、林業普及データベースの利用です(下図参照)。

(一) 電子掲示板

林野庁、全国林業改良普及協会、都道府県からのお知らせ、利用者の質問に対する関連情報の提供をするともに利用会員相互間の意見交換ができるシステムです。

(二) 電子メール

ある利用会員から他の利用会員に対して非公開でメールを送信するシステムです。

(三) 林業普及情報データベース

ホスト(全林協)の光ディスクに蓄積している林業普及情報を会員が必要に応じて検索・指定してファックス入手できるシステムです。

ア、森林及び林業・林産業関係の技術、経営、村起こし、グループ活動、普及活動等の現地事例

イ、森林及び林業・林産業関係の技術の解説、新商品、新技術、新研究の紹介等です。

主な収集源は全国林業改良普及協会発行の林業関係雑誌、都道府県またはその関係団体発行の広報誌です。

ただし、公的機関に所属していない執筆者の署名入り記事は著作権法との関係で除外されています。

蓄積件数は現在約五千二百件(全林協発行誌の記事約二千八百件、都道府県関係の広報誌の記事約二千四百件)で、毎年五百

件、六百件が蓄積されています。

五 利用の現状

件、六百件が蓄積されています。

林業普及ネットは、今後、情報提供の有用な手段となるものと期待されていますが、残念なことに利用は極めて低調です。その理由としては、情報の蓄積が少ない、蓄積情報が古い、通信速度が遅い、操作に習熟していないことなどの原因が考えられます。こうした問題を克服するには、Ag研修などに積極的に取り入れるほか利用者(県)の側においても積極的に情報を提供する必要があります。

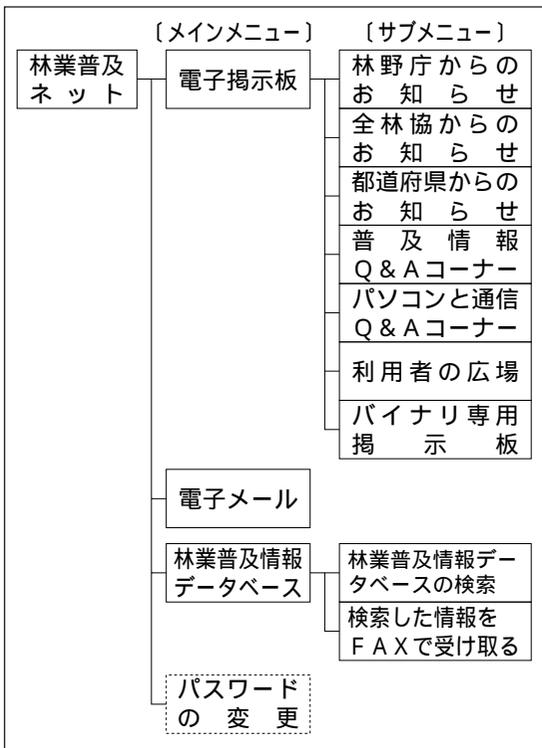
三 利用会員

都道府県の本庁、出先、試験指導機関で、現在四十一都道府県、百六十の事務所が会員となっています。本県からは平成七年二月、本庁、振興局、林業試験場、木材加工技術センターの計十二事務所が加入しました。

四 利用料金

利用者においてはパソコン通信の機器と電話回線の使用に必要な経費を負担するのみで、会費や情報のファックス送信の経費は当面、林野庁の助成で賄われています。

(林政課 林業専門技術員 広井睦生)

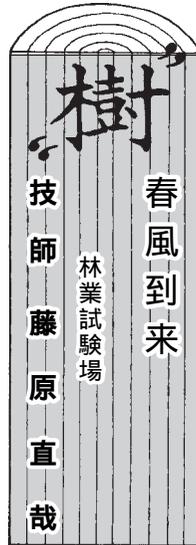


「せり、なすな、ごぎょう、はこべ、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、これぞ七草」と詠われてきたのは春の七草ですが、いよいよ山も里も、新しい生命で溢れる季節になりました。

春の山々にはたくさんの山菜が見られ、代表的なものとしては、ヤマウド、タラ、ワラビ、ゼンマイが挙げられます。またフキノトウ、イタドリ、モミジガサも非常に美味です。これら

山菜は、近年の自然志向の高まりのなかで、見直され、すっかり私達の生活に溶け込んでしまいました。何と言っても新鮮なうちに調理するのがいちばんですが、一方で漬け物や乾物にも利用されます。江戸時代まで遡ると、山菜は飢饉の時の非常食として扱われており、流通の不便だった近年まで、冬場の大切な保存食として重宝がられました。

こうした山菜も現在ではその多くが栽培され、私達の目に触れる機会も多くなりました。



春風到来

林業試験場

技師 藤原直哉

る。株分け、種子、挿し木などで増殖させる。排水の良い畑地であれば生育する。



モミジガサの栽培

一口に栽培といっても、その方法は多種多様で、生育地を手入れして活かす自生地栽培や、株を掘取って畑地で栽培する露地栽培、ハウスを利用したタラ、モミジガサなどのふかし栽培が行われています。

林業試験場で栽培化試験に取り組んでいるものとしては、次の山菜があります。

【ヤマウド】

香りが高く太いものが好まれ

【タラ】

人気が高い山菜で、スギの林縁や排水の良い場所が適する。種苗も販売されているが、分根で増殖し、ふかし栽培が簡単に出来る。

【ワラビ】

最も生産量の多い山菜で畑地に植え付けると地下茎で増殖するが長期の栽培は困難である。

【ゼンマイ】

地下水位が高く肥沃な土壌を好む。株分けで増やす。

【フキ】

排水と水持ちの良い畑地が適し、地下茎で増える。乾燥には弱い。

これらは、いずれも直射日光や乾燥に弱いので、栽培には遮光や敷きワラを必要とします。また、独特の風味を保つために、堆肥を中心とした施肥が望ましいとされています。むれや過湿を避けるため、植栽間隔は広く取ります。県内に自生するものでも、場所によって収穫時期や大きさが異なるため、質の高いものを選別して増やすようにします。

流通手段の発達と食生活の多

様化により、都市部でも山菜が販売されるようになりました。こうした消費動向を踏まえて、栽培も露地栽培だけでなく、ハウスやヒーターを使った促成栽培が行われています。しかし設備投資が大きいため、最近では山菜本来の性質を生かし、それに適した栽培方法が研究されています。夏栽培や高冷地栽培がこれに当たりますが、大規模な施設を必要とせず、安定した生産につながるため、将来の栽培方法として期待されています。

地域の林業を支える人達

㈱奈義森林建築センター

一級建築士 鷲田 寛さん(48歳)

木材生産から住宅供給まで一環システムを構築するため、昭和四十七年に森林組合の木材直販機関として、全額森林組合出資による㈱奈義森林建築センターが設立されました。手がけるのは、国産材だけを使った本格的木造住宅であり、在来軸組工法に代表される「匠」ともい

な毎日を送っています。奈義森林建築センターにお伺いし、現在の取り組み等お話を聞かせていただきましたので紹介します。まず、国産材を用いた純日本家屋だけを扱う理由をお聞かせ下さい。

「優良な国産材を潤沢に使い、堅牢で耐久度の高い住宅を造ってゆくためには、歴史ある本格的木造技術が必要であり、三世代一〇〇年もつ住宅を目指しています。また、新しいものの町づくりや活性化が叫ばれています。優れた技能の伝承そのものが歴史ある生活文化の大きな支えになっていることを改めて認識して、我が町が「木のまち」であり「住まいづくりの匠の里」になることを目標として頑張っています。」

今年度プレカット機械の導入を図っておりますが購入のポイントと大工の確保養成についてお聞かせ下さい。

「今回導入するプレカット機



械は在来工法では基本となる芯墨工法を行うことの出来る機種です。芯墨工法は技術取得に多くの時間がかかり若手大工には技術的に大変であることから、施工時間短縮はもとより、若手大工の励みになればと導入しました。

奈義建築センターの今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

「住まいづくりは人生最大の事業、全面付託されている責任の重大さを常に意識して取り組んでいます。今は、国産材を潤沢に使った本格的木造住宅にも手の届く時代であり、一般消費者はもとより建築業界、特に建築設計士に対するPRを進めてゆかなければならないと考えています。」

今回の取材で鷲田さんをはじめ、奈義建築センターの本格的木造住宅へのこだわりと「質のよい国産材を欲しがっている人は必ずいる、それを掘り起こしてゆく。」という積極的な姿勢に心強さを感じることができました。

最後に、同センターのますますの発展をお祈りするとともに、忙しい中突然の訪問にもかかわらず快く取材に応じて下さった鷲田さんに感謝申し上げます。

(勝英普及指導区

Ag 大西俊和)

普及指導のコーナー
苦津

林業研究グループ優良材 生産コンクール開催

津山地区林業研究グループ活性化推進会議主催による第四回津山地区林業研究グループ優良材生産コンクールが、平成九年一月二十九日に県森連津山木材共販所で開催されましたので、その概要を紹介します。

一 津山地区林業研究グループ活性化推進会議

この推進会議は、昭和六十年、苦津・久米普及指導区内十二の林研グループの会長が集まって結成されました。その後、五グループが加わり、現在は十七グループとなっています。

内訳は、しいたけなどの特産部門が三グループ、育林部門が十二グループ、婦人グループが二つです。会長は、江与味林業研究グループ（旭町）の黒木慎一郎会長で、津山林業改良指導員駐在所に事務局を置いています。

二 優良材生産コンクール

このコンクールは、グループ活動の強化と育林技術の向上、

優良材生産団地形成推進のため、平成五年度から毎年開催されています。

出品資格は、この推進会議に所属するグループ会員で、スギ、ヒノキ三、四、六mの末口直径十四cm以上の素材十本以上を一点としています。今回は、十一グループの会員二十八名からスギ九点、ヒノキ二十六点の計三十五点（三百七十本、約四十m³）の出品がありました。



出品材せり売

審査は

目揃い、色つや、

保育及び

市売りの

価格によ

り行われ

上位十点

が表彰さ

れました。

なお、今回の出品材のうち、せりの最高値は、スギが一m当たり三万八千円、ヒノキが二十九万円でした。

三 今後の課題

この推進会議の現在の活動は、年一回の会議（総会）と優良材生産コンクールが主体となっています。今回のコンクールでは、全会員の約一割からの出品があり、またスギの葉枯らし材の出荷も見られ、会員の経営意欲の向上に一役かっています。今後木を育て、売っていくことを主眼に、会員の英知を結集し、新しい活動の展開を図っていききたいと考えています。

（苦津普及指導区 Ag 今津 学）



表彰式

林研だより

真庭

「山林に親しみ、楽しい林業」を目指して

富原婦人林研クラブ

富原婦人林研クラブは、林業就労者の減少に対処し、女性も林業労働力の一躍を担うとともに、共同経営者としての自覚を持ち、後継者の育成と林業の発展を図るうと、専業主婦の女性十二名により昭和五十六年に結成されました。

当クラブ所在地の勝山町富原地区は「富原林業地」と呼ばれるように県内でも有数の林業地です。

当地域には、昭和四十四年に結成された林研グループ「富原林業研究クラブ」があり、林業の知識、技術の習得、経営の勉強会等をもに行っています。

「山林に親しみ、楽しい林業」をめざして山野草や薬草の利用、木工品づくり、食品加工場や先進地の林業経営などの視察を通じ会員相互の親睦を深めるとともに、クラブの活性化を図っています。

池田久美恵会長が林業後継者

青年幹部養成事業の全国グループリーダー研修会に参加した

際、和歌山県美山村林業振興会会員の寒川歳子さんに会い、ヒノキチオールの有効利用法を知ったことがきっかけで、平成七年度からヒノキの抽出成分の利用方法の研究を行っています。

平成八年度に岡山県農林漁業担い手財団より助成を受け、地域農林漁業振興研修事業を実施しています。

研究内容は、地元の製材所の木材人工乾燥機から排出される液体を手作り石けんに配合した製品作りです。

現在のところ、成分の均質化と、ヒノキの香りづけに苦心しています。

この他に、山野に自生する薬草を利用して、健康茶と浴用剤の自家利用方法や、地域の特産物である、お茶と椎茸他、山菜の利用法を研究しています。

小学生を対象とした林業教室



ヒノキの抽出成分を使用した手作り石けん

では、女性ならではの雰囲気づくりを行い、技術面だけでなく「育てるよろこび」「木から受ける感動」「自然の大切さ」など心の面に重きを置いた指導を行っています。

また、美しい森づくり運動に賛同し、勝山美しい森などで行われる植栽や下刈り作業等に積極的に参加しています。

今後は、これまでの活動成果を踏まえ、環境を保全しながら豊かな生活を目指し、地域の人々とのコミュニケーションを大切に、地域の活性化に貢献するため、「健康なくらし」を目標にして、次の活動を行います。

地域の特産品づくりを行いさらに高品質化を図るなど

の活動。

楽しさが発展につながるよう活動が負担にならないグループづくりを目指す。

林業教室を通じ、子供達に勤労や森林・林業の大切さを理解してもらい、将来、林業の担い手となる青少年を一人でも多く育成する努力をする。

会長を中心に会員全員が協力して会の運営を行っており、今後のご活躍と発展を期待いたします。

(真庭普及指導区 Ag 江見喜光)

野性きのこ(うすひらたけ) 新品種登録出願

林業試験場では、平成二年度から山の幸として市場価値が見込まれる野性きのこの栽培技術の開発に取り組んでいます。うすひらたけについて新しい優良な系統の種菌を得ることができました。

この内容については、県職務発明審査会において職務発明として認定・決定され、平成八年十二月十八日に農林水産省に出願書を提出し、受理されました。



ウスヒラタケ

味はあっさりしてくせがなく、いろいろな料理への利用が期待されます。また、きのこの発生適温が十七〜十八度でひらたけと比べ

お知らせ

三丁四 高いことやきのこが芽だしてから収穫するまでの期間が短いことから、新しい栽培用きのことして期待されます。

なお、林業試験場の品種登録出願は今回がはじめてです。(林政課 林業専門技術員 池田 稔)

美しい森でリラクセス

森の中で一日ゆっくりしてみませんか?

「里庄美しい森」は、里庄駅から十分とアクセスがよく気軽に行ける場所にあります。



里庄美しい森(多目的広場)

美しい森には、森には、五つの森を結ぶ遊歩道が整備されており、小鳥のさえずりを聞きながらゆっくり散歩ができます。また、遠くは倉敷市街地等を眺望できる展望台、子供さんが遊ぶ遊具もあり一日ゆっくり楽しめます。

主な施設

- 五つの森
花の森・冒険の森・郷土の森・木の実の森・火伏せの森
ビクターセンター
事務室・炊事場
宿泊施設三部屋(十二人)
セミナールーム(会議室)
キャンプ場
テントサイト十三サイト
多目的広場(芝付)
炊事棟
野鳥観察小屋

お問い合わせ先

- 里庄町役場浅口郡里庄町里見 一〇七二
(〇八六五) 六四 三一一
里庄美しい森ビクターセンター (〇八六五) 六四 七九〇四
(井笠普及指導区 Ag 森本裕司)

林業試験場整備 いよいよ佳境に

平成三年度より進めてきた林業試験場の施設整備も六年目を迎えました。昨年完成した郷土樹木園に引き続き、平成八年度では展示施設の一角をなす竹林

展示園・遊歩道・林間広場



林間広場(中央はパーゴラ)

等が完成したのでその概要を紹介いたします。竹林展示園は日本に自生する竹や笹三十種類を植栽した県下で唯一の施設で、園路を巡りながらいろいろな竹・笹の特徴について比較観察ができるようになっていきます。遊歩道は各展示施設を結ぶ総延長約七百五十mで、県下でも珍しいアカマツの純林(アカマツ母樹林を活用)の中を通り展望台へと誘っています。林間広場は展望のきくアカマツ林の中に木製のパーゴラを設け、その下には野外卓を三基設置しています。家族連れや学校の遠足などでの休憩に新たな名所となりそうです。

みなさん、ぜひリニューアルされた試験場の施設に一度足をお運びいただきたいと思います。(林業試験場 林業専門技術員 大賀哲哉)

林産物市況

製材 (2月下旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	28 - 30	6.0	一等	40 - 50	10.5	特等	130 - 140
7.5	一等	22 - 25	7.5	一等	35 - 40	12.0	特等	140 - 150
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	23 - 25	"	上小	200 - 220
"	一等	25 - 27	"	一等	35 - 37	13.5	特等	130 - 135
10.5	一等	50 - 55	10.5	一等	90 - 100	"	上小	160 - 180
"	特等	60 - 65	"	特等	100 - 110	ラ ス 板		
"	上小	70 - 80	"	上小	170 - 200	2 ^m 1.2×	9.0	30 - 35
"	無節	80 - 90	"	無節	220 - 250	3 ^m 1.2×	9.0	30 - 35
12.0	特等	53 - 60	12.0	特等	100 - 110	2 ^m 1.5×	10.5	30 - 35
"	上小	70 - 80	"	上小	170 - 200	2 ^m 0.9×	24.0	75 - 80
"	無節	80 - 90	"	無節	220 - 250	2 ^m 1.5×	24.0	40 - 45
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	40 - 45	6.0	一等	65 - 70	杉4 ^m 3.0×	3.0	無節 (本) 5 - 9
9.0	上一	28 - 33	9.0	上一	40 - 45	杉4 ^m 4.0×	4.5	無節 (本) 15 - 23
"	一等	38 - 40	"	一等	58 - 60	杉4 ^m 4.5×	10.5	無節 200 - 250
10.5	特等	50 - 55	10.5	特等	110 - 115	桧4 ^m 4.5×	10.5	上小 250 - 280
12.0	特等	50 - 55	12.0	特等	105 - 115	桧4 ^m 4.5×	10.5	無節 300 - 350

木材 (2月上旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	12	12	-
	11 - 13	26	30	-
	14 - 16	32	47	-
	18上	24	41	15
4m	7 - 10	16	25	-
	11 - 13	16	55	-
	14 - 16	-	55	-
	18上	20	35	17
6m	14 - 16	-	76	-
	18 - 20	-	57	-

乾しいたけ (2月下旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	36	73
" 中 葉	31	70
" 小 葉	11	60
バ レ 大 葉	30	51
" 中 葉	20	47
ス ラ イ ス	13	38
香 茹	37	70
上 冬 茹	44	72
並 "	28	58
並 並 "	15	56
小 玉 "	10	21
格 外 品	4	40

編集後記

平成八年度の最終号をお届けします。一年間ご愛読いただきありがとうございます。今後とも会員のための機関誌となるよう努めたいと思います。会員の皆様の積極的な投稿をお願いします。平成九年度から会費が二千元になる予定です。三百円値上げとなりますが、引き続き、ご愛読願います。次回は、五月一日発行予定です。(H)